

小河一敏関係文書目録

2022年3月

国立国会図書館憲政資料室

目録・最新の概要情報はウェブサイトに掲載しています

国立国会図書館リサーチ・ナビ「憲政資料室の所蔵資料」

(<http://rnavi.ndl.go.jp/kensei/>)

小河一敏関係文書

- └ 書簡の部（資料番号1～61）
- └ 書類の部（資料番号62～208）
 - └ 小河一敏著作（資料番号62～68）
 - └ 小河一敏意見書・覚書（資料番号69～120）
 - └ 小河一敏辞令・通牒（資料番号121～171）
 - └ 小河家関係（含一敏伝記資料）（資料番号172～201）
 - └ 第三者著作・草稿（資料番号202～208）

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
書簡の部（資料番号1～61）						
1	阿野中納言書簡 小河一敏宛	阿野中納言	小河一敏	2月10日	数量 1通 内容 大鳥社司の件で面調を遂げたく今日か明後日にご出頭願う 記述法 墨書	あり
2	阿蘇前大宮司書簡 小河一敏宛	阿蘇前大宮司	小河一敏	〔明治4年〕2月28日	数量 1通 内容 至尊のお側近きご官務珍重、今日日本は攘夷家と洋病家との騒動ばかり、今日の状況へのお見込みお聞かせ願う、倅の様子 記述法 墨書	あり
3	阿蘇惟敦書簡 小 小河一敏宛	阿蘇惟敦	小河一敏	5月6日	数量 1通 内容 野尻義右衛門所蔵の岩倉家先代詩草の件、熊本人武藤巖雄が編集したものについて、福羽発起の好古社について 記述法 墨書	あり
4	坊城俊政書簡 小 小河一敏宛	坊城俊政	小河一敏	5月19日	数量 1通 内容 改元日限は公卿補任で調べたので間違いはない 記述法 墨書	あり
5	坊城俊政書簡 小 小河一敏宛					
5-1	醍醐忠順書簡 小 小河一敏宛	醍醐忠順	小河一敏	〔慶応4年〕5月8日	数量 1通 内容 従五位下宣下の書付一通送付す 記述法 墨書	あり
5-2	醍醐忠順書簡 小 小河一敏宛	醍醐忠順	小河一敏	5月13日	数量 1通 内容 閑院宮直仁親王の御子淳宮は鷹司家を相続したと聞いたが確証はないので鷹司家に郵便で聞き合わせた方がよかろう 記述法 墨書	あり
5-3	醍醐忠順書簡 小 小河一敏宛	醍醐忠順	小河一敏	〔慶応4年〕7月21日	数量 1通 内容 叙爵御書付は取紛れそのまま手元にあったがひとまず返却す、御請又はご猶予共弁官事へ申上げられるべし 記述法 墨書	あり
6	江川成之書簡 小 小河一敏宛	江川成之	小河一敏	明治11年4月17日	数量 1通 内容 岡田栄之助との金銀作り矢立を巡る訴訟は本日堺支庁へ出頭し解訟が聞き届けられた、即刻代価をお渡しくださるよう願う 記述法 墨書	あり
7	郷田兼徳書簡 小 小河一敏宛					

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
7-1	郷田兼徳書簡 小河一敏宛	郷田兼徳	小河一敏	1月12日	数量 1通 内容 旧臘出京時は挨拶に伺えず残念、今般敷等並びに双光旭日章御拝賜の由雀躍の至り 記述法 墨書	あり
7-2	郷田兼徳書簡 小河一敏宛	郷田兼徳	小河一敏	2月27日	数量 1通 内容 お申越しの本阿弥の儀についてはなお地稅など得と取調べの上返答す 記述法 墨書	あり
7-3	郷田兼徳書簡 小河一敏宛	郷田兼徳	小河一敏	12月26日	数量 1通 内容 本阿弥は旧政府の御用達町人の類、御省でお取立てになっても当府は故障筋なし、ただし身分が曖昧なものは他にもおり本阿弥一人を差し出しては他にも差響くか 記述法 墨書	あり
7-4	郷田兼徳書簡 小河一敏宛	郷田兼徳	小河一敏	〔明治11年〕1月23日	数量 1通 内容 廉夫君の件川路警視に話をしたが当今戦地帰りや徴募の人員が多く此涯お受けいたしがたいとのこと、当地銀行創立のため取り急ぎ出発したこと悪しからずお含み願う 記述法 墨書	あり
8	五条為栄書簡 小河一敏宛	五条為栄	小河一敏	明治12年10月16日	数量 1通 内容 神鏡お預かり証書 記述法 墨書 備考 折紙	あり
9	橋本実梁書簡 小河一敏宛					
9-1	橋本実梁書簡 小河一敏宛	〔橋本実梁〕	小河一敏	明治7年2月	数量 1通 内容 お預かり中の宣旨が焼失したため書き改めたものを相渡す、御璽も焼失したため新御璽を押印した旨式部頭坊城俊政殿ご演舌これあり 記述法 墨書	あり
9-2	橋本実梁書簡 小河一敏宛	橋本実梁	小河一敏	11月10日	数量 1通 内容 宣旨年次の件は大分県へ寮から渡したものであるのを県を通じて寮に差し出すべし、差し出されたら速やかに書き改めてお戻しする 記述法 墨書	あり
10	服部有喜書簡 小河一敏宛	服部有喜	小河一敏	明治13年10月23日	数量 1通 内容 息子雄吉が海軍兵学校に入るに当たり身上引請証人を引き受けてくれたことへの礼 付属資料 メモ、1枚 記述法 墨書	あり

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
11	広瀬重武書簡 小河忠夫宛	広瀬重武	小河忠夫	明治22年1月25日	数量 1通 内容 建碑の事についての西村知事の発言報知、東京での入費及び集金見込みをお知らせ願う 記述法 墨書	あり
12	堀川従五位書簡 小河一敏宛	堀川従五位	小河一敏	11月15日	数量 1通 内容 別紙名前の者の継家相続について内願 記述法 墨書 備考 折紙	あり
13	藤田一郎書簡 小河一敏宛	藤田一郎	小河一敏	5月21日	数量 1通 内容 武藤君の書状返却 記述法 墨書	あり
14	伊丹重賢書簡 小河忠夫宛	伊丹重賢	小河忠夫	明治22年6月29日	数量 1通 内容 過日ご送付の立木払下げ願書についてご教示願う 記述法 墨書	あり
15	香川敬三書簡 小河一敏宛	香川敬三	小河一敏	1月13日	数量 1通 内容 ご訪問時不在にて失敬、矢島某書面一見す、いづれそのうち拝顔を得万縷申し述べ 記述法 墨書	あり
16	楯取素彦書簡 小河一敏宛	楯取素彦	小河一敏	明治16年5月9日	数量 1通 内容 井上氏著述の『修身訓蒙』落手、群馬県下では明治11年に小生創意で『修身説約』を編纂し教科書に充用、1日の前橋市街火災で返事が遅れたがご諒恕ねがう 記述法 墨書	あり
17	岸良俊介書簡 小河一敏宛					
17-1	岸良俊介書簡 小河一敏宛	岸良俊介	小河一敏	明治15年8月4日	数量 1通 内容 伏水寺田屋一件では種々ご高配深謝、福岡土族小河はいずれも播磨国小河より出し者の由、古田織部流の茶事を心得るものの連絡先報知 付属資料 メモ、1枚 記述法 墨書	あり
17-2	岸良俊介書簡 小河一敏宛	岸良俊介	小河一敏	明治16年7月7日	数量 1通 内容 本月下旬には帰県と考え居り候、日限決まったらお知らせする 記述法 墨書	あり
18	古賀定雄書簡 小河一敏宛	古賀定雄	小河一敏	5月9日	数量 1通 内容 覚書三十五巻差し上げ候間貴課より御請取お遣わし願う、鎮西志は今暫く留め置きたし 記述法 墨書	あり

小河一敏関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
19	小宮山綏介書簡 小河一敏宛	小宮山綏介	小河一敏	3月2日	数量 1通 内容 文書纂の返却につき、岡藩関係書類の調査につき 記述法 墨書	あり
20	黒木常書簡 小河一敏宛	黒木常	小河一敏	明治17年9月1日	数量 1通 内容 小河一敏子息逝去のお悔み状 記述法 墨書	あり
21	丸山作楽書簡 小河一敏宛	丸山作楽	小河一敏	6月3日	数量 1通 内容 今朝は用向き叶わず残念 記述法 墨書	あり
22	松村秀実書簡 小河一敏宛					
22-1	松村秀実書簡 小河一敏宛	松村秀実	小河一敏	7月13日	数量 1通 内容 かつて願ひ置いた摺物・斡旋人名・御令弟様のことなど洩らさず拝承、この上有益な見聞あれば御聞示願う 記述法 墨書	あり
22-2	松村秀実書簡 小河一敏宛	松村秀実	小河一敏	4月30日	数量 1通 内容 拝借の書類は謄写済につき返却す、身上の儀は今暫く自然に付し築地の先生の指示を待ち追って着手すべし、藤田には未だ書状出さず 記述法 墨書	あり
23	三宅武彦書簡 小河一敏宛	三宅武彦	小河一敏	8月1日	数量 1通 内容 加茂百十八の御状遞送、月性上人首巻の所在について 記述法 墨書	あり
24	村山松根書簡 小河一敏宛					
24-1	村山松根書簡 小河一敏宛	村山松根	小河一敏	明治12年12月1日	数量 1通 内容 自己の履歴、藤井経徳の履歴 記述法 墨書 用紙 郵便はがき	あり
24-2	村山松根書簡 小河一敏宛	村山松根	小河一敏	1月14日	数量 1通 内容 元号訂正、三樹三郎の八郎への改称について 記述法 墨書 用紙 郵便はがき	あり
25	中川伝次郎・小河六郎左衛門書簡 田中織衛ほか宛 (コピー)	中川伝次郎・小河六郎左衛門	田中織衛ほか	9月	数量 1通 内容 弥右衛門の所業についての寛大の処置を乞う歎願 記述法 電子式複写(墨書)	あり

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
26	中川久昭(従五位)書簡 小河一敏宛	中川久昭(従五位)	小河一敏	10月15日	数量 1通 内容 京都府招魂社への金円寄附の件は委細ご帰京の上相談、藤右衛門の件も延引 記述法 墨書	あり
27	中川濤太郎書簡 小河一敏宛					
27-1	中川濤太郎書簡 小河一敏宛	中川濤太郎	小河一敏	10月21日	数量 1通 内容 父の履歴を送ることは承知、しかし学校の世話については自分は関与しておらず筆記物も焼失しているため大分で調査中であり遅くなる 付属資料 メモ、3枚 記述法 墨書	あり
27-2	中川濤太郎書簡 小河一敏宛	中川濤太郎	小河一敏	〔明治16年〕1月8日	数量 1通 内容 父の最期の様子について、埋葬地について 記述法 墨書	あり
27-3	中川濤太郎書簡 小河一敏宛	中川濤太郎	小河一敏	2月29日	数量 1通 内容 柴山両賀の件は御覧の通り相違なし、岡城の図送付感謝、父の履歴については追って返書す 記述法 墨書	あり
28	中川潜叟書簡 小河一敏宛					
28-1	中川潜叟書簡 小河一敏宛	中川潜叟	小河一敏	明治14年4月30日	数量 1通 内容 私の解任以降は宿にて重雄に教授し重雄は大いに進歩し今月より学校に従事、旧主家の事は何分運びつかず困却、「明烏」落手、旧主家の所蔵品の行方について 記述法 墨書	あり
28-2	中川潜叟書簡 小河一敏宛	中川潜叟	小河一敏	2月27日	数量 1通 内容 副島先生聞書類の義についてご勘考ください、本年は志津ヶ岳300年祭で自家祖宗の祭典修行につき祝詞文撰著願う 記述法 墨書	あり
28-3	中川潜叟書簡 小河一敏宛	中川潜叟	小河一敏	9月18日	数量 1通 内容 戸伏のための募金出金状況、廉夫辞職の件について、御父子様刑律お逃れ重畳 記述法 墨書	あり
28-4	中川潜叟書簡 小河一敏宛	中川潜叟	小河一敏	7月23日	数量 1通 内容 南方と潜叟への書簡など書簡数通拝受、不染斎随筆云々敬承、養老俸御内旨は菅公の冥助ありがたし、中川社昇格の願書につき、ご家譜の抜粋別紙差し上げ 記述法 墨書	あり

小河一敏関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
28-5	中川潜叟書簡 小河一敏宛	中川潜叟	小河一敏	〔明治14年〕7月5日	数量 1通 内容 宮内省御用掛月給50円御拜命めでたし 記述法 墨書	あり
28-6	中川潜叟書簡 小河一敏宛	中川潜叟	小河一敏	7月5日	数量 1通 内容 本月一日に郡書記に任ぜられ取締兼務、従五位様より碧雲寺への通達写しの入手について富永に依頼した 記述法 墨書	あり
28-7	中川潜叟書簡 小河一敏宛	中川潜叟	小河一敏	8月2日	数量 1通 内容 従五位様よりの通達写しを富永が送ったようだがそれについて不審な点がある 記述法 墨書	あり
28-8	中川潜叟書簡 小河一敏宛	中川潜叟	小河一敏	7月16日	数量 1通 内容 「明烏」十部お下し願う、久悠も野殿も気の毒なること 記述法 墨書	あり
28-9	中川潜叟書簡 小河一敏宛	中川潜叟	小河一敏	9月10日	数量 1通 内容 台湾事は重大事件で国の存亡此の一挙にあるべし、桂出京以来の心底について、家禄奉還の件について 記述法 墨書 備考 前欠	あり
28-10	中川潜叟書簡 小河一敏宛	中川潜叟	小河一敏		数量 1通 内容 「不染斎随筆」に記載されている楽器・茶道具・刀剣などの事について 記述法 墨書 備考 資料番号28-11の別紙カ	あり
28-11	中川潜叟書簡 小河一敏宛	中川潜叟	小河一敏	3月2日	数量 1通 内容 お問い合わせの件につき「不染斎随筆」の内容を別紙に記し送る、自筆本とその写本の配置について、久悠の不体裁について 記述法 墨書	あり
28-12	中川潜叟書簡 小河一敏宛	中川潜叟	小河一敏	4月5日	数量 1通 内容 国教一件如何の運びになり候や、神祇省は如何なるや、伊勢神官庁の動向について、「猪首語読篇」落手 記述法 墨書 備考 冒頭破れ	あり
28-13	中川潜叟書簡 小河一敏宛	中川潜叟	小河一敏	〔明治15年〕8月9日	数量 1通 内容 岡城図ようやく出来送付す、おちせの西福寺行きは破談と宇都宮健哉より書状到来、それにつき調べた該寺の内証について 記述法 墨書	あり

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
28-14	中川潜叟書簡 小河一敏宛	中川潜叟	小河一敏	〔明治15年〕9月5日	数量 1通 内容 蝮川事驚愕、岡城図一見もせぬ内とは猶更残念、岡城図銅版出版の際の宗六翁の扱いについて、清秀公ご贈位の件 記述法 墨書	あり
28-15	中川潜叟書簡 小河一敏宛	中川潜叟	小河一敏	4月28日	数量 1通 内容 副島殿ご執筆のご神体について、浦部家蔵の藤樹先生の書について、「近世人鏡録」について、久方軍法書について、ご太祖様ご贈位のことは阿南に申し置く 付属資料 書状断片、1点 記述法 墨書	あり
28-16	中川潜叟書簡 小河一敏宛	中川潜叟	小河一敏	10月8日	数量 1通 内容 勘三郎はお千代の迎えに急に仙台へ出立、■四郎との和議は思いもよらないがお順だけとは和議が成るようにしたい、勘三郎家の商売向・相続について、大学部内皇典課の教官人事について 記述法 墨書	あり
28-17	中川潜叟書簡 小河一敏宛	中川潜叟	小河一敏	9月28日	数量 1通 内容 大船山のご神体の納め時期について、当家瀧兵衛二代のことについて 記述法 墨書 備考 末尾破れ	あり
28-18	中川潜叟書簡 小河一敏宛	中川潜叟	小河一敏	明治15年6月6日	数量 1通 内容 家系につき種々の調査有難し、御太祖様の我弟瀧兵衛云々という言葉について、中川家の番さし物について、岡城絵図のことについて、日野殿より大船山のことでお尋ねあり、入子笛の件、御一新以来の氏子替の風潮について、久悠連累のものまで案外の重科 記述法 墨書	あり
28-19	中川潜叟書簡 小河一敏宛	中川潜叟	小河一敏	明治15年6月20日	数量 1通 内容 洪水にて橋流失、岡城図は六翁が尽力着手中、副島師の活版数枚落手、別紙お答え差出す 記述法 墨書	あり
28-20	中川潜叟書簡 小河一敏宛	中川潜叟	小河一敏	7月16日	数量 1通 内容 川向熊田の秘蔵書の事について、「しみのすみか」は観山君御一世の事を詳述したるもの 付属資料 (1)小河一敏書簡中川潜叟宛、1通 / (2)メモ、6枚 記述法 墨書	あり
28-21	中川潜叟書簡 小河忠夫宛	中川潜叟	小河忠夫	8月30日	数量 1通 内容 五円為換落手、以後ご無理の差略なきよう、朝鮮事件について 記述法 墨書	あり

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
29	豊書簡 中川宛	豊	中川	3月13日	数量 1通 内容 小河殿ご二人の令嬢と面晤の依頼について 記述法 墨書	あり
30	中田憲信書簡 小河一敏宛	中田憲信	小河一敏	3月12日	数量 1通 内容 兵庫裁判所支配役のことについて 記述法 墨書	あり
31	日宣書簡 小河六郎左衛門宛（コピー）	日宣	小河六郎左衛門	慶応4年4月7日	数量 1通 内容 長遠院様250回忌への香典受納、一如院木像送付、御免許次第隠居の積りで後住はすでに決まっている 記述法 電子式複写（墨書）	あり
32	野溝清格書簡 小河一敏宛					
32-1	野溝清格書簡 小河一敏宛	野溝清格	小河一敏	9月〔13日〕	数量 1通 内容 近況報告、今日の世相について 記述法 墨書	あり
32-2	野溝清格書簡 小河一敏宛	野溝清格	小河一敏	6月28日	数量 1通 内容 寛叔先生の事跡につき、老兄春ご交代との噂を聞くが実にならぬようご用心願う、田島より聞いた一件についてのお答え承知 記述法 墨書	あり
32-3	野溝清格書簡 小河一敏宛	野溝清格	小河一敏	5月28日	数量 1通 内容 気候について、藤崎八幡近所小笠原屋敷前での果し合いの件 記述法 墨書 備考 後欠	あり
32-4	野溝清格書簡 小河一敏宛	野溝清格	小河一敏	8月13日	数量 1通 内容 山中鹿之助の願望につき、朝倉吟味格勤の件、三宅山猪鹿獵の件 記述法 墨書	あり
32-5	野溝清格書簡 小河一敏宛	野溝清格	小河一敏	12月4日	数量 1通 内容 日置流について 記述法 墨書 備考 前後欠	あり
32-6	野溝清格書簡 小河一敏宛	野溝清格	小河一敏	12月28日	数量 1通 内容 猪口の方呑み勝手につき其の内お下し願う、人の評判も日月立つに従い薄らぐは人情の習い、紀州木村左内伝のにべ弓うらやまし 記述法 墨書 備考 前欠	あり

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
32-7	野溝清格書簡 小河一敏宛	野溝清格	小河一敏	5月13日	数量 1通 内容 平岩様の評判につき、桜馬場太夫らの出勤状況についての噂、処世の態度について 記述法 墨書 備考 前欠	あり
32-8	野溝清格書簡 小河一敏宛	野溝清格	小河一敏	2月28日	数量 1通 内容 津藩吉田へのお答えの義、家臣の家筋につき、近藤の話承る、弓の技術について 記述法 墨書 備考 前欠	あり
32-9	〔野溝清格意見書〕	〔野溝清格〕		亥4月	数量 1通 内容 文武修行のあり方について、若者の風俗について 記述法 墨書	あり
32-10	野溝清格書簡 小河一敏宛	野溝清格	小河一敏	2月28日	数量 1通 内容 気候について、名家種々の人に御出會都會の御学問成るべき由至極の御心掛け 記述法 墨書 備考 後欠	あり
32-11	〔野溝清格意見書〕	〔野溝清格〕		天保9年4月14日	数量 1通 内容 獵について 記述法 墨書 備考 後欠	あり
32-12	〔野溝清格意見書断簡〕	〔野溝清格〕			数量 1通 内容 水練・責馬について 記述法 墨書 備考 後欠	あり
32-13	〔野溝清格書簡断簡〕 小河一敏宛	〔野溝清格〕	小河一敏		数量 1通 内容 長谷川という人物について 記述法 墨書 備考 資料番号32-15の別紙カ	あり
32-14	〔野溝清格意見書断簡〕	〔野溝清格〕			数量 1通 内容 文武修行振興について 記述法 墨書 備考 前欠	あり
32-15	〔野溝清格書簡断簡〕 小河一敏宛	〔野溝清格〕	小河一敏		数量 1通 内容 人形八幡羽文お写しについて、別紙にて長谷川の事申上げる 記述法 墨書 備考 前欠	あり
32-16	野溝清格書簡 小河一敏宛	野溝清格	小河一敏	3月10日	数量 1通 内容 行状について、柳井のことにつき、寛叔先生の事跡拝見延引、肅相国・高祖の御返答面白し、孫介昇進筋の儀、など 記述法 墨書 備考 前欠	あり

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
32-17	野溝清格書簡 小河一敏宛	野溝清格	小河一敏	4月28日	数量 1通 内容 此の節紀州出はお止め然るべし、神奈川遠乗り厄難の件、弓の的につき、吉田流印西派など云々 記述法 墨書	あり
33	野尻維則書簡 小河一敏宛	野尻維則	小河一敏	6月21日	数量 1通 内容 先年の名刀恵与への礼、私先代と高山仲繩先生との交際の件につき阿蘇家へお取遣わしの件感謝、岩倉殿ご先代高山方へ送別の詩写送付 記述法 墨書	あり
34	小河一敏書簡 (案)					
34-1	小河一敏書簡 (案) 平野種二宛					
34-1-1	小河一敏書簡 (案) 平野種二宛	小河一敏	平野種二	明治16年6月1日	数量 1通 内容 先年譲った『回天管見策』の跋文を見たいので郵送願う、二郎君の直書・号について 記述法 墨書	あり
34-1-2	小河一敏書簡 (案) 平野種二宛	小河一敏	平野種二	9月16日	数量 1通 内容 御亡父建碑の件、『回天管見策』について 付属資料 封筒断簡(海賀某)、1点 記述法 墨書	あり
34-2	小河一敏書簡 広瀬・忠夫宛	小河一敏	広瀬・忠夫	7月18日	数量 1通 内容 忠夫執行振のこと聞いた、成るだけ早く当地へ参るよう、船に乗る際の心得 記述法 墨書	あり
34-3	小河一敏意見書	小河一敏	〔宛先不明〕	〔明治3年9月〕	数量 1通 内容 去月20日堺県知事免官恐縮、税所篤の堺県知事任官時の県吏人事について、今後の自らの進退について 記述法 墨書 備考 小河一敏関係文書137とほぼ同文	あり
34-4	小河一敏書簡 小河忠夫宛	小河一敏	小河忠夫	明治15年9月26日	数量 1通 内容 忠夫の帰府のことなどにつき武井(守正)との会見内容報知 記述法 墨書	あり
34-5	小河一敏書簡 中川潜叟宛					

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
34-5-1	小河一敏書簡 中川潜叟宛	小河一敏	中川潜叟	明治16年10月13日	数量 1通 内容 猪首語本篇並拾遺草稿落手、長慎事についての話も承知、余慶勘右衛門の実名お知らせ願う、安食範五郎とは範八郎の誤写ではないか、渡辺への叡感状の写しは田近・赤座は必要としているか確認願う 記述法 墨書	あり
34-5-2	小河一敏書簡 中川潜叟宛	小河一敏	中川潜叟	6月14日	数量 1通 内容 猪首語拾遺についての問い合わせに回答願う、登高社の件、山岸年譜の件、「不染齋随筆」一部を潜叟が預かるのは如何 記述法 墨書 備考 前欠、朱字で中川潜叟書き込み	あり
34-6	小河一敏書簡					
34-6-1	小河一敏書簡 常二郎宛	小河一敏	常二郎	明治16年9月12日	数量 1通 内容 潜叟から「猪首語拾遺」に載せるべき分をその方に写させたと聞いたので早々に送付願う 記述法 墨書 備考 朱字で中川潜叟書き込み	あり
34-6-2	小河一敏書簡 中川潜叟宛	小河一敏	中川潜叟	明治16年10月1日	数量 1通 内容 福島正則の書を博物館に納める件は如何、未だそのままならば御本書を悉く東京にお寄せ願う、望東は「近世義烈伝」にある由だが紛失したため常二郎に写させて送ってほしい、赤座・天野の事がわかったらお知らせ願う、忠夫の妾を本妻に直す件 記述法 墨書 備考 朱字で中川潜叟書き込み	あり
34-7	〔小河一敏〕書簡 阿南尚宛	〔小河一敏〕	阿南尚	〔明治16年〕1月3日	数量 1通 内容 岡城図開板の遅れについて、中川潜叟死去は残念 記述法 墨書 備考 控	あり
34-8	〔小河一敏〕書簡	〔小河一敏〕	〔宛先不明〕	10月11日	数量 1通 内容 東行について貴諭の旨加藤と申談じ候結果報告 記述法 墨書	あり
34-9	〔差出人不明書簡〕・小河一敏書簡(案)					
34-9-1	〔差出人不明書簡〕	〔差出人不明〕	〔宛先不明〕		数量 1通 内容 御出府ご出立前のご配意のことはその通りに相成る、弓系図のこと 記述法 墨書 備考 後欠	あり

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
34-9-2	小河一敏書簡 (案)	〔小河一敏〕	〔宛先不明〕		数量 1通 内容 一敏管轄地困窮のため上京し民部・大蔵両省に申達さんとせしが上京にも伺いが必要とのことで見合わせ、東京に皇居造営との噂に愕然 記述法 墨書	あり
34-9-3	小河一敏書簡 (案)	〔小河一敏〕	〔宛先不明〕		数量 1通 内容 民部・大蔵両省の扱い・人事などについて 記述法 墨書	あり
34-9-4	小河一敏書簡 (案)	〔小河一敏〕	〔宛先不明〕		数量 1通 内容 西郷・有村・近藤の行動について 記述法 墨書 備考 前欠	あり
34-9-5	〔差出人不明書簡〕	〔差出人不明〕	〔宛先不明〕		数量 1通 内容 紀州出の節の事 記述法 墨書 備考 破損・後欠	あり
34-9-6	小河一敏書簡 (案)	小河一敏	〔宛先不明〕	11月	数量 1通 内容 此の義は人臣の議する所にこれ無し、見込みを付けずして伺い奉るべし 記述法 墨書	あり
35	小河一順書簡 小河一敏宛					
35-1	小河一順書簡 小河一敏宛	小河一順	小河一敏	〔明治4年〕2月29日	数量 1通 内容 お扶持米の金額について、宝積丸船頭からの返済金の件、書物五部送付す、忠夫病状につき、ほか 記述法 墨書	あり
35-2	小河一順書簡 小河一敏宛	小河一順	小河一敏	2月17日	数量 1通 内容 岩倉殿の御詠差し上げ申す、井久津への短刀落手、波田村まき・岡田稻蔵へ下されものへの礼の件、忠夫のことについて 記述法 墨書 備考 前欠カ	あり
36	小河ゆき書簡 小河一敏宛	小河ゆき	小河一敏	6月11日	数量 1通 内容 廉夫の病状について、ほか 記述法 墨書	あり
37	小河常次郎書簡 小河一敏・祖母宛	小河常次郎	小河一敏・祖母	明治17年6月13日	数量 1通 内容 廉夫病状見舞い 記述法 墨書	あり
38	奥野丑次郎書簡 小河一敏宛	奥野丑次郎	小河一敏	明治18年5月29日	数量 1通 内容 別紙祝詞並びに式の概況ご送致、詳細は矢野主事より報道相成るべし 記述法 墨書	あり

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
39	坂田潔書簡 小河一敏宛					
39-1	坂田潔書簡 小河一敏宛	坂田潔	小河一敏	〔明治3年〕4月14日	数量 1通 内容 天下の為ご自愛ご尽力祈る 記述法 墨書	あり
39-2	坂田潔書簡 小河一敏宛	坂田潔	小河一敏	21日	数量 1通 内容 清原へお答えのご文意は至当公平と存ず、小生も一封差し上げるので同送願う 記述法 墨書	あり
39-3	坂田潔書簡 小河一敏宛	坂田潔	小河一敏	5日	数量 1通 内容 前原送別は吉井少輔へも相談し一同罷り出るべし、清原免職ありがたし 記述法 墨書	あり
40	柴田家門書簡 小河孝子宛	柴田家門	小川孝子	明治42年4月29日	数量 1通 内容 大学よりの代金請求書の扱いについて 付属資料 領収書（柴田家門、明治42年5月17日）、1枚 記述法 墨書	あり
41	杉浦重剛書簡 小河忠夫宛	杉浦重剛	小河忠夫	6月15日	数量 1通 内容 副島氏への献上品について、久邇宮様へも一言申し上げおいた、義夫様ご大病につき 付属資料 (1)杉浦重剛書簡（7月22日）、1通 / (2)広瀬武夫写真、1枚 記述法 墨書	あり
42	田能村小虎書簡 小河一敏宛	田能村小虎	小河一敏	9月23日	数量 1通 内容 小石氏よりの葉書呈上、僕も東上の心組 記述法 墨書	あり
43	田近陽一郎書簡 小河一敏宛	田近陽一郎	小河一敏・小河廉夫	9月16日	数量 1通 内容 出京時ご伝言の内容を武衛様にお伝え申上げた、桂氏左膳様には追ってお伝えす、小野金馬・勘三郎にも未だ出会わず、藤本鉄石扇面進上 記述法 墨書	あり
44	戸田忠至書簡 小河一敏宛	戸田忠至	小河一敏	12月11日	数量 1通 内容 河州支配地村々からの申し遣わしの趣通知感謝、入費を減らすため村方に役場を設けたが庄屋共が不正を働くとは嘆息 記述法 墨書	あり
45	森下景端書簡 小河一敏宛	森下景端	小河一敏	11月27日	数量 1通 内容 帰県後風災の処分にて公務多事、志賀の書について報告、皇室御系統山陵の儀は書抜きもでき教部省へ差し出した 記述法 墨書	あり

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
46	渡辺長慎書簡 小河一敏宛	渡辺長慎	小河一敏	明治17年1月13日	数量 1通 内容 年始あいさつ、御編集の材料調べの状況について、叡感御書石板刷りの件、中川潜叟死去のお悔やみ、潜叟死去後は肝胆を吐露すべき相手なし 付属資料 渡辺長慎書簡（同年月日）、1通 記述法 墨書	あり
47	山口菊次郎書簡 小河一敏宛	山口菊次郎	小河一敏	明治14年8月3日	数量 1通 内容 御次女様御所にお勤めになる由めでたし、池田家よりお手当頂戴次第金円を渡したい 記述法 墨書	あり
48	山岡鉄太郎書簡 小河一敏宛					
48-1	山岡鉄太郎書簡 小河一敏宛	山岡鉄太郎	小河一敏	10月31日	数量 1通 内容 天長節のご拝顔につき 記述法 墨書	あり
48-2	山岡鉄太郎書簡 小河一敏宛	山岡鉄太郎	小河一敏	〔明治14年〕10月24日	数量 1通 内容 宮内省お入りについて29日までは英国皇孫あり取り込み中だが30日以後であればいつでも差支えなし 記述法 墨書	あり
48-3	山岡鉄太郎書簡 小河一敏宛	山岡鉄太郎	小河一敏	10月17日	数量 1通 内容 先ごろお預かりの書類はまず小生手元に仕舞い置く、いずれ拝顔の上申しあぐべし、ご都合次第宮内省までご足労願う 記述法 墨書	あり
49	柳原光愛書簡 小河一敏宛	柳原光愛	小河一敏	1月14日	数量 1通 内容 新年のあいさつ、相かわらず修撰御用ご奉職大賀 記述法 墨書	あり
50	柳原前光書簡 小河一敏宛					
50-1	柳原前光書簡 小河一敏宛	柳原前光	小河一敏	9月7日	数量 1通 内容 修史館中御系図取調事務・内務社寺局中陵墓事務を宮内省に申しつべき件の見通し、日本紀類ご所持あるいは修史館にあれば鳥渡拝見願いたし 記述法 墨書	あり
50-2	柳原前光書簡 小河一敏宛	柳原前光	小河一敏	7月	数量 1通 内容 面会予定の変更依頼 記述法 墨書	あり
51	矢野勘三郎書簡 小河一敏宛	矢野勘三郎	小河一敏	3月10日	数量 1通 内容 1月29日宇佐神宮禰直拝命と赴任後の様子につき報告 記述法 墨書	あり

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
52	結城秀伴書簡 小河一敏宛					
52-1	結城秀伴書簡 小河一敏宛	結城秀伴（筑後守）	小河一敏	9月3日	数量 1通 内容 ご令息様医案お頼みの件は現在流行の新宮涼民への書状を認めた、ご帰国の善し悪しについての噂報告 記述法 墨書	あり
52-2	結城秀伴書簡 小河一敏宛	結城秀伴（筑後守）	小河一敏	7月25日	数量 1通 内容 幼年の頃よりご愛顧くださった長男秀寿が本月4日に病死したのでお知らせす、拙生先年より岡山県下で郡長拜命 記述法 墨書	あり
53	玄仙書簡 小河一敏宛	玄仙	小河一敏	〔慶応4年〕 閏4月22日	数量 1通 内容 此の程中のご心労お礼筆紙に尽くしがたし、両三日中に一物を引き取りたし 記述法 墨書	あり
54	元祐書簡 小河一敏宛	元祐	小河一敏		数量 1通 内容 不忘初 記述法 墨書	あり
55	冬道書簡 小河一敏宛	冬道	小河一敏	〔明治3年〕 6月9日	数量 1通 内容 ご内話の違令云々の儀は如何相成り候や、出府定めて拝謁も仕るべし、帰庁後悉く承るべし 記述法 墨書	あり
56	勝一書簡 小河一敏宛	勝一	小河一敏	8月28日	数量 1通 内容 仰せ聞かれ候一条宜しき儀と存じ候 記述法 墨書	あり
57	翠図書簡 小河廉夫・高山忠夫	翠図	小河廉夫・高山忠夫	1月22日	数量 1通 内容 新年あいさつ、浮浪徒の暴動計画阻止のため旧蠅の賢父一件御書面への返書遅れ申し訳なし、賢父の儀2月上旬早々には上京致すべし 記述法 墨書	あり
58	〔阿蘇惟治〕書簡	〔阿蘇〕 惟治			数量 1通 内容 先祖の勤王の歴史について、今日のご政体のありさまについて、ご周旋願う 記述法 墨書	あり
59	中蔵書簡 小河一敏宛	中蔵	小河一敏	13日	数量 1通 内容 東京の美筆ご投与感謝、散副ご所望につき呈す 記述法 墨書	あり
60	〔差出人不明書簡〕					

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
60-1	〔差出人不明書簡〕	〔差出人不明〕			数量 1通 内容 壬生東京府知事家来長村忠彦の嘆願について 記述法 墨書	あり
60-2	進藤為名(久邇宮内) 小河一敏宛書簡	進藤為名(久邇宮内)	小河一敏	8月29日	数量 1通 内容 『明烏』題字について、御出張中お借上げの書籍三冊の扱いについて 記述法 墨書	あり
60-3	〔差出人不明書簡〕	〔差出人不明〕		5月17日	数量 1通 内容 自らの処遇について 記述法 墨書	あり
60-4	〔差出人不明書簡〕	〔差出人不明〕		6日	数量 1通 内容 明日暁天か夕刻に参上す、先日開拓監事仰せつけられた件につき 記述法 墨書	あり
61	〔差出人不明書簡〕					
61-1	〔差出人不明書簡〕	〔差出人不明〕			数量 1点 内容 広瀬へお托しの岡城写真見事、廉夫の事は示談の上のちに申しあぐべし 記述法 墨書	あり
61-2	〔差出人不明書簡〕	〔差出人不明〕			数量 1点 内容 人名メモカ 記述法 墨書	あり
61-3	〔差出人不明書簡〕	〔差出人不明〕			数量 1点 内容 兵議のこと 記述法 墨書	あり
61-4	〔差出人不明書簡〕	〔差出人不明〕			数量 1点 内容 知新日録ほか書物差出の遅れについて、宝積丸の金も未だ入手せず、春霞集落手 記述法 墨書 備考 後欠カ	あり
61-5	平田延胤書簡	平田延胤		〔明治4年〕1月25日	数量 1点 内容 二冊写し取り返納、今一本は追って写し返上す、去る22日に侍読の宣下を蒙り有難し 記述法 墨書	あり
書類の部(資料番号62~208)						
小河一敏著作(資料番号62~68)						
62	手引草百首	小河一敏 〔著〕、聚星館 〔出版〕		明治12年2月	数量 1冊 記述法 印刷[活版]	あり

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
63	明烏 上・下	小河一敏 [編輯]、聚星館 [出版]		明治13年10月	数量 2冊 記述法 印刷[活版]	あり
64	中川潜叟略伝	小河一敏		明治17年2月	数量 1綴 記述法 墨書	あり
65	猪首語 (草稿)	小河一敏		明治17年6月	数量 1冊 記述法 墨書	あり
66	王政復古義拳録 上・下	小河一敏 [著]、丸善 [出版]		明治19年8月	数量 2冊 記述法 印刷[活版]	あり
67	義拳私記	小河一敏		慶応2年11月	数量 1冊 記述法 墨書	あり
68	入薩日記草稿 (コピー)	[小河一敏]			数量 19枚 記述法 電子式複写 (墨書) 備考 部分的に欠あり	あり
小河一敏意見書・覚書 (資料番号69~120)						
69	救済米下付二付書 上			辰6月	数量 1枚 記述法 墨書	あり
70	[民部省諮問二付答申草稿]	白川県・堺県・大津県・三河県・日光県知事		明治2年5月	数量 1枚 内容 地方官のあり方について 記述法 墨書	あり
71	[建議草稿]	小河一敏・朽木綱徳		明治2年5月	数量 1枚 内容 府と県との名称の区別について、県の管轄地について、飛地の扱いについて 記述法 墨書	あり
72	[松方一郎宛意見書]	小河一敏	松方一郎 (松方正義)	明治2年7月14日	数量 1綴 内容 堺県廃止に反対、自らの職務について 付属資料 意見書写(野史台野紙)、3枚 記述法 墨書	あり
73	[建議草稿]			明治2年11月15日	数量 1枚 内容 大蔵省の民部併呑にて云々、全国大会計について 記述法 墨書	あり
74	[堺県人事二付上申 民部省宛]	小河一敏	民部省	[明治2年] 10月18日	数量 1枚 内容 山田時章を堺県大参事に任ずることを希望 記述法 墨書 備考 小河一敏関係文書133が付札 (民部省の回答)	あり

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
75	〔神祇官再立二付島津内閣顧問へ奉ル鄙表〕	小河一敏	〔島津久光〕	明治6年5月	数量 1枚 付属資料 封筒、1枚 記述法 墨書	あり
76	封事（孝明天皇廟ヲ東京二建造ノ件）	小河一敏		明治18年6月22日	数量 1綴 付属資料 封事提出経緯メモ、1枚 記述法 墨書	あり
77	〔民部省宛上申書控〕				数量 1枚 記述法 墨書 備考 小河一敏関係文書74の一部分	あり
78	〔民政会計等二付建言草案〕				数量 1枚 記述法 墨書	あり
79	〔意見書草案〕				数量 1枚 内容 県治振起云々 記述法 墨書	あり
80	〔建言草稿〕				数量 1枚 内容 宮内大丞増員 記述法 墨書	あり
81	〔意見書草案〕				数量 1枚 内容 陵墓調査一件 記述法 墨書	あり
82	〔中川家墓所造営二付意見書〕				数量 1枚 記述法 墨書	あり
83	〔意見書草案〕				数量 1枚 内容 南北朝正閏問題 記述法 墨書	あり
84	〔意見書草稿〕				数量 1枚 内容 家禄平均云々 記述法 墨書	あり
85	〔建白草稿〕				数量 1枚 内容 金銀のことにつき 記述法 墨書 備考 後欠	あり
86	〔建白書控〕				数量 1枚 内容 徒党をくんだ者の処断について 記述法 墨書	あり
87	〔建議草稿〕	小河一敏			数量 1綴 内容 皇親系完成のため山城大和辺に出張したし 記述法 墨書 用紙 太政官野紙	あり

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
88	〔一敏口上〕			5月27日	数量 1枚 内容 品物・書状落手、嘉介・幸三郎宿料の件 記述法 墨書 備考 壬申五月写	あり
89	〔意見書断〕				数量 1枚 内容 安田一件 記述法 墨書	あり
90	〔意見書草稿（断簡）〕				数量 1枚 内容 人材の用い方について 記述法 墨書	あり
91	〔小河一敏他五名述志〕	小河一敏 他5名		天保8年12月24日	数量 1枚 付属資料 包紙、1枚 記述法 墨書	あり
92	〔僧月照首巻一件〕				数量 1枚 記述法 墨書	あり
93	〔文久2年大原岩倉会见次第覚書〕	藤原一敏（小河一敏）			数量 1枚 記述法 墨書	あり
94	〔寺田屋事件以後勤王事件にて横死人名書上〕				数量 6枚 付属資料 包紙(「四月廿三日祭霊名」と記載あり)、1枚 記述法 墨書	あり
95	〔寺田屋事件覚書〕	小河一敏			数量 4枚 記述法 墨書	あり
96	〔覚書〕	小河一敏		明治16年2月	数量 1枚 内容 自身の宮内省出仕につき 記述法 墨書	あり
97	〔野溝清格二関スル覚書〕	小河一敏		明治16年9月	数量 3枚 記述法 墨書	あり
98	〔宿直二付覚〕				数量 1枚 記述法 墨書	あり
99	〔覚書〕	小河一敏		明治13年4月	数量 1枚 内容 岸良俊助云々 記述法 墨書	あり
100	〔覚書〕				数量 1枚 内容 西村へ可申要件 記述法 墨書	あり
101	〔覚書〕				数量 2枚 内容 三宅走太郎云々 記述法 墨書	あり
102	〔覚書〕	小河一敏			数量 1枚 内容 鏡について 記述法 墨書	あり

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
103	〔覚書〕					
103-1	〔覚書〕				数量 1枚 内容 民部大蔵両省引分けなど民政関係 記述法 墨書 備考 前後欠	あり
103-2	〔覚書〕	小河一敏		6月16日	数量 1枚 内容 政府内の会計のあり方につき 記述法 墨書	あり
103-3	〔覚書〕	小河一敏		10月22日	数量 1枚 内容 宮内大丞増員 記述法 墨書	あり
103-4	〔覚書〕	小河一敏		7月16日	数量 1枚 内容 楮幣切捨との御目的万賀 記述法 墨書	あり
104	〔偶感〕	〔小河一敏〕			数量 1枚 記述法 墨書	あり
105	〔断簡〕				数量 1枚 内容 啓学館云々 記述法 墨書	あり
106	〔覚書断簡〕				数量 9枚 記述法 墨書	あり
107	鄙言	野溝清格			数量 2枚 付属資料 包紙、1枚 記述法 墨書	あり
108	〔土地開発等二付 建言控 丞相・垂 相宛〕	高岡・堺・大 津・品川・高 崎・岩鼻・水 原・大宮県		〔明治2年〕8 月5日	数量 1枚 記述法 墨書	あり
109	祝詞	小河一敏		明治2年4月1日	数量 1枚 内容 北野に宮柱太敷立て鎮り云々 記述法 墨書	あり
110	祝詞	小河一敏		明治14年2月1 5日	数量 1枚 内容 大国魂大国主神の御前に云々 記述法 墨書 備考 下書き力	あり
111	〔寺田屋事件記念 碑建立募金趣意 書〕	小河一敏・富 田通信・黒田 清綱・海江田 信義・吉井友 実		明治14年4月、 明治16年4月	数量 2枚 記述法 墨書	あり
112	〔副島ぬし写真の 記〕	小河一敏		明治15年9月	数量 2枚 付属資料 包紙、1枚 記述法 墨書	あり

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
113	副島大人へ尋く論語之疑				数量 1枚 記述法 墨書	あり
114	〔太閤肖像由来(控)〕	小河一敏		明治16年1月	数量 1枚 記述法 墨書	あり
115	〔歌稿〕				数量 1枚 内容 御苑菊 記述法 墨書	あり
116	謹奉和瑤韻	小河一敏			数量 1枚 記述法 墨書	あり
117	〔墨跡〕	小河一敏			数量 4枚 記述法 墨書	あり
118	身堅行事			明治18年12月16日	数量 2枚 付属資料 包紙、1枚 記述法 墨書	あり
119	歌人履歴書				数量 2枚 付属資料 包紙、1枚 記述法 墨書	あり
120	〔古田家譜抜書・考証〕	小河一敏			数量 1枚 記述法 墨書	あり
小河一敏辞令・通牒(資料番号121～171)						
121	〔孝明天皇勅意御書付、同写〕					
121-1	〔孝明天皇勅意御書付〕			〔文久2年閏8月21日〕	数量 2枚 付属資料 (1)説明書(墨書)、同文3枚 /(2)包紙、1枚 記述法 墨書	あり
121-2	〔孝明天皇勅意御書付写〕			〔文久2年閏8月21日〕	数量 同文2点(4枚) 記述法 印刷	あり
122	〔帰国命令〕			〔文久3年〕9月	数量 1枚 付属資料 包紙、1枚 記述法 墨書	あり
123	〔辞令(徴士内国事務局権判事被仰付候事)〕	総裁	小河弥右衛門	慶応4年3月2日	数量 1枚 付属資料 (1)説明書、1枚 / (2)包紙、1枚 記述法 墨書 備考 折紙	あり
124	〔辞令(民政租税掛被仰付候事)〕		小河弥右衛門	〔慶応4年3月2日〕	数量 1枚 付属資料 (1)説明書、1枚 / (2)包紙、1枚 記述法 墨書	あり

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
125	〔辞令（港口掛被仰出候事）〕		小河弥右衛門	〔慶応4年3月10日〕	数量 1枚 付属資料 (1)説明書、1枚 / (2)包紙、1枚 記述法 墨書	あり
126	〔辞令（参与職内国事務局判事被仰付候事）〕	総裁	小河弥右衛門	慶応4年4月〔25日〕	数量 1枚 記述法 墨書 備考 折紙	あり
127	〔辞令（大坂府判事被仰付候事）〕		小河弥右衛門	〔慶応4年〕5月	数量 1枚 付属資料 辞令通達通知（コピー）、1枚 記述法 墨書	あり
128	〔辞令（大坂府裁判所兼勤被仰付候事）〕		小河弥右衛門	〔慶応4年5月〕	数量 1枚 記述法 墨書	あり
129	〔位記添状（叙従五位下右宣下候事）（写）〕		小河弥右衛門	〔慶応4年〕5月6日	数量 1枚 記述法 墨書	あり
130	〔辞令（大坂府判事被免堺県知事被仰付候事）〕		小河弥右衛門	〔慶応4年6月29日〕	数量 1枚 付属資料 (1)弁事宛小河一敏請書、1枚 / (2)包紙、1枚 記述法 墨書	あり
131	〔辞令添状（任堺県知事右宣下候事）〕	太政官	小河弥右衛門	〔明治2年〕7月	数量 1枚 付属資料 包紙、1枚 記述法 墨書	あり
132	〔辞令（任堺県知事）〕	右大臣（三条実美）	藤原朝臣一敏	明治2年7月17日	数量 1枚 記述法 墨書	あり
133	〔民部省返答書〕	民部省		明治2年11月	数量 1枚 記述法 墨書 備考 小河一敏関係文書74に対する付札	あり
134	〔辞令（県札狭山藩札並賡金引替・堤防救助の儀専断につき謹慎被仰付候事）〕	太政官	〔小河一敏〕	明治3年8月25日	数量 1枚 記述法 墨書	あり
135	〔辞令（東京滞在可致候事）〕	太政官	〔小河一敏〕	明治3年8月	数量 1枚 記述法 墨書	あり
136	〔辞令（免堺県知事）〕	太政官	〔小河一敏〕	明治3年8月〔19日〕	数量 1枚 記述法 墨書	あり
137	〔堺県吏再任二付歎願〕	小河一敏	〔宛先不明〕	〔明治3年〕9月16日	数量 1枚 記述法 墨書 備考 小河一敏関係文書34-3とほぼ同文	あり
138	〔辞令（謹慎被免候事）〕	太政官	〔小河一敏〕	明治3年9月26日	数量 1枚 記述法 墨書	あり

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
139	〔辞令（任宮内大丞）〕	右大臣（三条実美）	藤原朝臣一敏	明治3年9月27日	数量 1枚 記述法 墨書	あり
140	〔辞令添状（任宮内大丞右宣下候事）〕	太政官	〔小河一敏〕	明治3年9月	数量 1枚 記述法 墨書	あり
141	〔辞令（御系図取調御用掛被仰付候事）〕	太政官	〔小河一敏〕	明治3年閏10月	数量 1枚 記述法 墨書	あり
142	〔辞令（鳥取藩御預々被仰付候事）〕	太政官	小河一敏	明治4年3月	数量 1枚 記述法 墨書	あり
143	〔辞令（免宮内大丞）〕	太政官	小河一敏	明治4年4月	数量 1枚 記述法 墨書	あり
144	〔小河一敏病氣二付帰県延期歎願〕	高山忠夫・加藤条之助	元岡県庁	〔明治4年〕12月25日	数量 1枚 付属資料 〔小河一敏療養のため外出許可歎願〕高山忠夫・加藤条之助筆、元岡県庁宛（明治5年2月）、1枚 記述法 墨書	あり
145	〔書物返還二付歎願〕	高山忠夫・加藤条之助	元岡県庁	明治5年2月	数量 1枚 記述法 墨書	あり
146	〔歎願書案〕	高山忠夫・加藤条之助	元岡県庁	明治5年2月	数量 1枚 記述法 墨書 備考 小河一敏関係文書144の付属資料の案	あり
147	〔辞令（任肥後国阿蘇神社宮司兼補大講義）〕	三島通庸（教部大丞）	小河一敏	明治6年3月15日	数量 1枚 付属資料 (1)説明書、1枚 / (2)包紙（小河一敏関係文書126の包紙カ）、1枚 記述法 墨書	あり
148	〔辞令（依願免肥後国阿蘇神社宮司並大講義）〕	教部省	小河一敏	明治6年3月23日	数量 1枚 付属資料 包紙、1枚 記述法 墨書	あり
149	〔辞令（補七等出仕）〕	右大臣（岩倉具視）	小河一敏	明治6年11月19日	数量 1枚 記述法 墨書	あり
150	〔辞令（除服出仕）〕	太政官	小河一敏	明治7年1月9日	数量 1枚 記述法 墨書	あり
151	〔辞令（徳川昭武所蔵之古記類為取調水戸表へ被差遣候事）〕	太政官	小河一敏	明治7年2月20日	数量 1枚 記述法 墨書	あり
152	〔辞令（任三等修撰）〕	太政大臣(三条実美)	小河一敏	明治8年8月28日	数量 1枚 記述法 墨書	あり
153	〔位記（叙正七位）〕	太政大臣(三条実美)	小河一敏	明治8年10月24日	数量 1枚 記述法 墨書	あり

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
154	〔辞令（山城大和辺へ被差遣候事）〕	太政官	小河一敏	明治9年7月4日	数量 1枚 記述法 墨書	あり
155	〔辞令（任二等修撰）〕	太政大臣(三条実美)	小河一敏	明治10年1月4日	数量 1枚 記述法 墨書	あり
156	〔辞令（罷第四局総括）〕	副総裁	小河一敏	明治10年1月6日	数量 1枚 記述法 墨書	あり
157	〔辞令（任四等編修官）〕	右大臣（岩倉具視）	小河一敏	明治10年1月27日	数量 1枚 記述法 墨書	あり
158	〔所蔵書籍献納の段奇特につき金拾円下賜〕	太政官	小河一敏	明治10年7月5日	数量 1枚 付属資料 別紙目録、1枚 記述法 墨書	あり
159	〔辞令（戊辰役以後処々戦亡人姓名履歴取調御用被仰付候事）〕	総裁	小河一敏	明治10年9月27日	数量 1枚 記述法 墨書	あり
160	〔辞令（任宮内権少書記官）〕	太政大臣(三条実美)	小河一敏	明治10年10月17日	数量 1枚 記述法 墨書	あり
161	〔辞令（御系譜掛被仰付候事）〕	宮内省	小河一敏	明治10年10月18日	数量 1枚 記述法 墨書	あり
162	〔辞職願〕	〔小河一敏〕			数量 1枚 記述法 墨書	あり
163	〔辞令（依願免宮内権少書記官）〕	太政官	小河一敏	明治11年3月19日	数量 1枚 記述法 墨書	あり
164	〔位記（叙従六位）〕	太政大臣(三条実美)	小河一敏	明治11年3月19日	数量 1枚 記述法 墨書	あり
165	〔辞令（位一級ヲ被進金五百円下賜候事）〕	太政官	小河一敏	明治11年3月19日	数量 1枚 記述法 墨書	あり
166	〔辞令（宮内省御用掛被仰付候事）〕	宮内省	小河一敏	明治14年7月2日	数量 1枚 記述法 墨書	あり
167	〔辞令（一ヶ月金五拾円下賜候事）〕	宮内省	小河一敏	明治14年7月2日	数量 1枚 記述法 墨書	あり
168	〔勲記（叙勲五等双光旭日章）〕	賞勲局	小河一敏	明治15年12月29日	数量 1枚 付属資料 勲記（叙勲六等瑞宝章、小河忠夫宛 明治34年6月27日）、1枚 記述法 墨書、印刷 備考 御名御璽あり	あり

小河一敏関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
169	〔礼服換用許可書〕	徳大寺実則 (宮内卿)		明治16年6月15日	数量 1綴 付属資料 封筒、1枚 記述法 墨書 備考 願書綴り込み	あり
170	〔位記(叙従五位)〕	太政大臣(三条実美)	小河一敏	明治18年3月13日	数量 1枚 記述法 墨書	あり
171	〔位記(叙正五位)〕	内閣総理大臣(伊藤博文)	小河一敏	明治19年1月30日	数量 1枚 記述法 墨書	あり
小河家関係(含一敏伝記資料)(資料番号172~201)						
172	小河家系				数量 1冊 記述法 墨書	あり
173	〔家系調〕				数量 1枚 内容 中川家の家系について 記述法 墨書	あり
174	小河家譜(1)・(2)				数量 2冊 記述法 墨書	あり
175	家譜校正考徴ノ内				数量 1綴 記述法 墨書	あり
176	〔祖先事跡考〕	小河一敏		明治17年7月	数量 1冊 記述法 墨書	あり
177	〔先祖書〕				数量 1枚 内容 中川氏仕官のこと 記述法 墨書	あり
178	〔先祖書(断簡)〕	〔小河一敏ほか〕			数量 一括(10枚) 記述法 墨書	あり
179	〔小河ノ池、小野ヶ池の由来〕				数量 2枚 記述法 墨書	あり
180	〔旗印〕				数量 1点 内容 「小河やえもん」 記述法 縫い付け 備考 布製	あり
181	〔祈祷料他受領書〕	鳥居高太夫	小河弥右衛門、廉夫	明治2年3月23日	数量 3枚 付属資料 封筒、1枚 記述法 墨書	あり
182	〔水晶玉受領〕	〔大鳥神社〕		明治2年8月	数量 1枚 記述法 墨書 用紙 大鳥神社野紙	あり
183	〔朝鮮銭受領書〕	博物館	小河一敏	明治6年2月	数量 1枚 記述法 墨書	あり

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
184	〔射籠手受領証〕	博覧会事務局	小河一敏	明治6年6月7日	数量 1枚 記述法 墨書	あり
185	〔小河一敏肖像〕				数量 4枚 記述法 印刷 備考 『王政復古義拳録』、『先人小河一敏事略』掲載	あり
186	〔写真（小河一敏先生邸）（コピー）〕				数量 同内容2枚 記述法 電子式複写[写真]	あり
187	〔方栄社株金証〕	方栄社		明治10年8月3日	数量 1枚 付属資料 (1)諸経費計算書、1枚 / (2)退社時返金証書、1枚 / (3)包紙、1枚 記述法 墨書	あり
188	〔通知（木盃一個下賜候事）〕	東京府庁	小河一敏	明治13年5月	数量 1枚 内容 博物館への献納品への賞 記述法 墨書	あり
189	知人宿所留	小河		明治14年	数量 1冊 記述法 墨書	あり
190	〔祖霊神社奉納書籍書上〕				数量 1枚 記述法 墨書	あり
191	〔名簿〕				数量 1綴 内容 小河一敏葬祭関係カ 記述法 墨書	あり
192	〔小河一敏墓後誌〕				数量 1枚 記述法 墨書	あり
193	〔小河一敏記念碑建立寄附募集趣意書〕	堀真五郎・郷田兼徳・戸原楨国ほか3名[発起人]等		明治22年10月	数量 1綴 付属資料 (1)〔名簿〕、1綴 / (2)〔会計報告書〕、同文12枚 記述法 墨書	あり
194	〔染井墓地小河一敏君記念碑文〕	久邇宮朝彦親王[篆額]、副島種臣[撰]、巖谷修[書]、井亀泉[刻]		明治24年9月	数量 同文6枚 付属資料 (1)〔碑文謄写、発起人〕、同文2件(8枚) / (2)封筒、1枚 記述法 印刷[石版]	あり
195	〔写真（南河内小河一敏記念碑）〕	長谷信篤[篆額]、増本匡[撰]、桃井直正[書]			数量 1枚 付属資料 (1)碑文写、1枚 記述法 写真	あり
196	〔記事切抜（南河内記念碑関係（『朝日新聞』1958年9月16日））〕			昭和33年9月16日	数量 1枚 記述法 印刷	あり

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
197	〔小河一敏伝（補）原稿他〕				数量 1綴 記述法 墨書	あり
198	〔記事切抜（小河一敏君の伝）及び補足〕			〔明治19年〕	数量 1枚 記述法 印刷[活版]	あり
199	〔追想小河廉夫君〕	赤座正直		明治18年4月19日	数量 1枚 記述法 墨書	あり
200	〔小河廉夫長男一麻呂二男信麻呂、副島種臣仮子約束書〕			明治15年3月24日	数量 1枚 記述法 墨書	あり
201	〔命名書〕	副島種臣		明治26年9月9日	数量 1枚 内容 小河国麻呂 記述法 墨書	あり
第三者著作・草稿 （資料番号202～208）						
202	大原重成卿御書付	大原重成			数量 1枚 内容 楽吉左衛門唐津写水指ノ件 付属資料 包紙、1枚 記述法 墨書	あり
203	〔岩倉侍従様御書付為書〕			〔慶応4年〕4月5日	数量 1枚 付属資料 包紙、1枚 記述法 墨書	あり
204	〔印影（菅原道真）〕				数量 同文3枚 記述法 墨刷	あり
205	〔賦〕	副島種臣			数量 2枚 記述法 墨書	あり
206	皇后御歌				数量 1枚 記述法 墨書	あり
207	〔西郷隆盛墨跡（複製）〕	武侠世界社 [発行]		大正4年1月1日	数量 1枚 記述法 印刷 備考 『武侠世界』4巻1号附録	あり
208	〔墨書〕				数量 1枚 内容 唐白居易「府西池」後半 記述法 墨書	あり